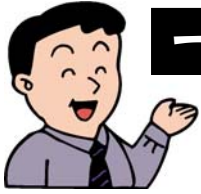




本宮市の平成20年度各会計の決算がまとまりました。皆様から納めていただいた税金がどのように使われているのかをお知らせします。

平成20年度決算の状況



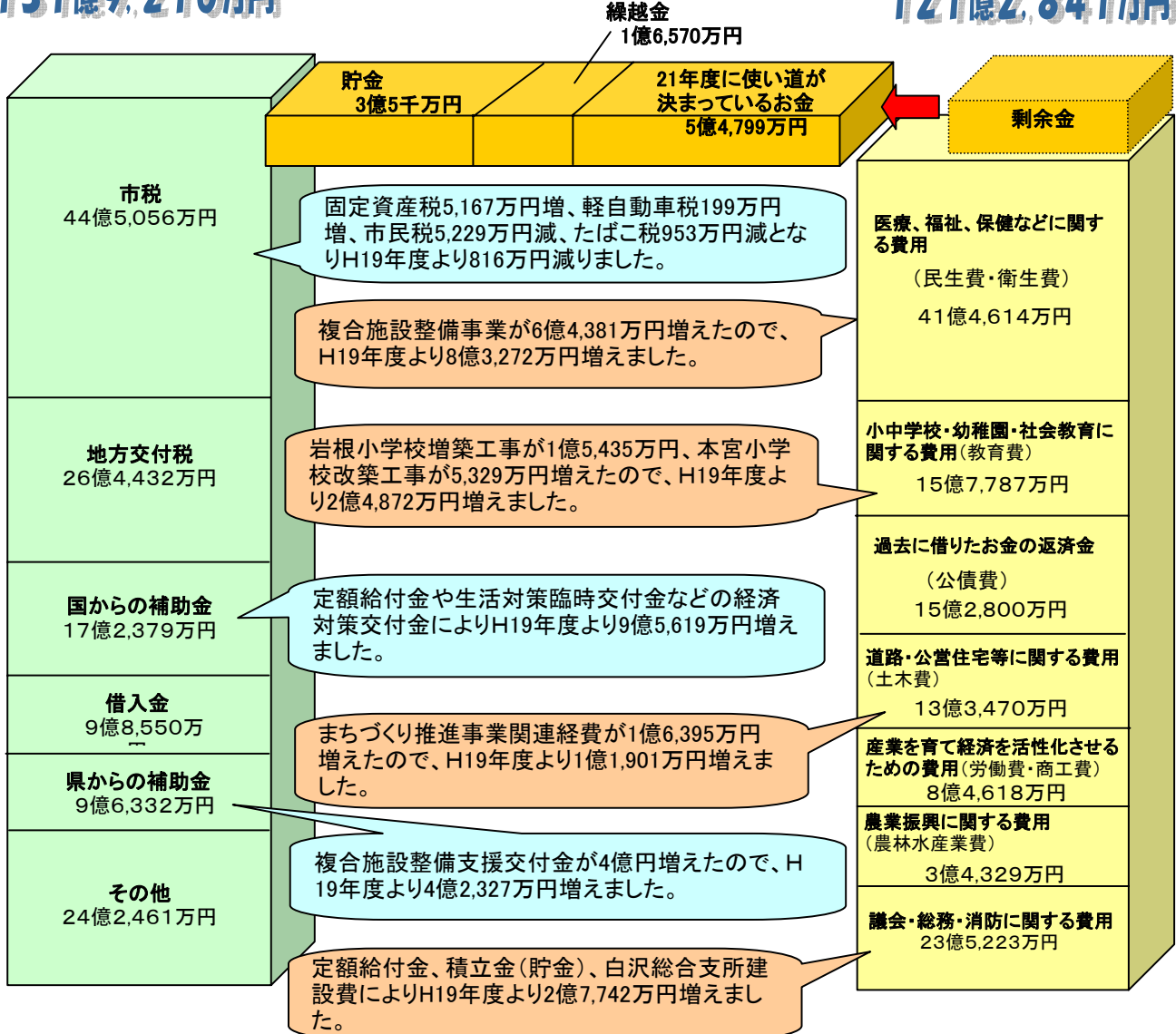
一般会計

歳入から歳出を差引いた収支は10億6,369万円の黒字となりました。歳入については、国からの補助金や交付税が当初の予算額を上回り、歳出については、産業、医療、福祉など必要なところにお金を使いました。

剰余金10億6,369万円のうち21年度に使い道が決まっているお金（H20年度中に事業が完了しなかった分）は5億4,799万円、貯金に3億5,000万円を積み立て、残りの1億6,570万円を21年度に繰越しました。

歳入総額
131億9,210万円

歳出総額
121億2,841万円



H20年度の決算は、H19年度と比較すると歳入が4.0%減、歳出が9.0%減となりました。次のページで主な事業にどのくらいお金が使われたかを具体的に説明します。

H20年度の主な事業

1. 豊かな心と創造性あふれる 人材育成のまちづくり

本宮小学校大規模改修事業
3億5,516万円

外国語指導助手招致事業
1,345万円

岩根小学校増築事業
耐震補強改修実施設計業務委託
1億6,559万円

2. 住民と行政の協働による 自立したまちづくり

白沢総合支所建設事業
1億547万円

総合計画の策定
147万円

広報広聴事業
804万円

地域コミュニティ活動の促進
3,392万円

3. 共に支えあう やさしいまちづくり

予防接種の実施
3,826万円

放課後子ども教室推進事業
178万円

子育て支援活動交付金
49万円

妊産婦健康診査
1,676万円

後期高齢者医療事業特別会計繰出金事業
6,245万円

つどいの広場事業
161万円

小学生入院・通院医療費助成
1,010万円

放課後児童健全育成事業
4,157万円

複合施設整備事業
7億6,322万円

4. 活力ある ふるさとのまちづくり

観光振興事業
1,793万円

商工会等への補助
1,846万円

農産物生産拡大事業
614万円

水田農業改革推進事業
1,414万円

農業振興事業支援交付金
167万円

商工振興事業支援交付金
67万円

5. 安全安心な 環境のまちづくり

消防団活動支援
4,304万円

歩道・ガードレール等設置
645万円

道路や橋の改良・新設・補修
5億7,405万円

防犯灯設置工事
237万円

特別会計・企業会計



限られた予算の中で、節約をしながら運営したので、すべての会計が黒字となりました。

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計	30億9,074万円	29億3,738万円	1億5,336万円
老人保健特別会計	3億2,378万円	2億9,640万円	2,738万円
後期高齢者医療特別会計	2億1,825万円	2億1,526万円	299万円
介護保険特別会計	15億5,424万円	15億3,572万円	1,852万円
公共下水道事業特別会計	12億4,070万円	12億2,240万円	1,830万円
農業集落排水事業特別会計	5,038万円	4,862万円	176万円
工業用地造成事業特別会計	6億8,823万円	6億8,488万円	335万円
工業用地資産運用事業特別会計	1億2,632万円	1億2,624万円	8万円
住宅団地造成事業特別会計	224万円	128万円	96万円

企業会計（水道事業）の決算

経常的な収支		投資的な収支	
収入	9億7,630万円	収入	3億4,125万円
支出	8億4,857万円	支出	8億4,407万円

※投資的な収支の不足分は留保資金や積立金を取り崩して補てんしました。

本宮市の借金はどのくらいあるの？

H20年度末残高

市債残高

223億9,209万円

債務負担行為残高

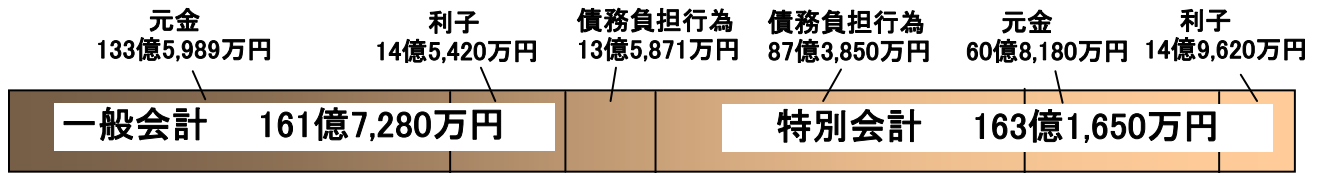
100億9,721万円

324億8,930万円

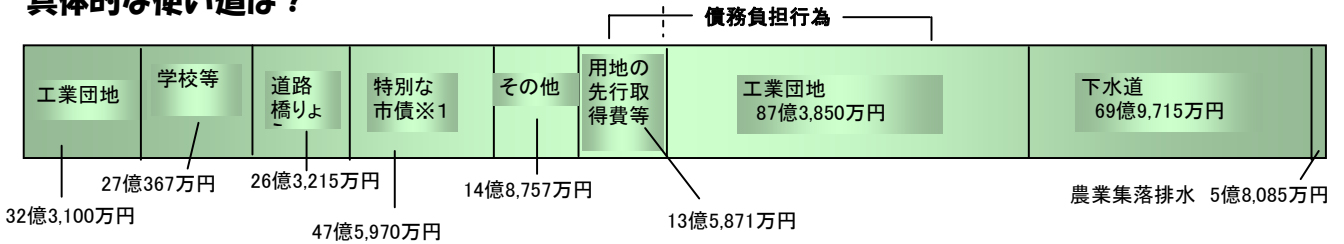
市民1人
当たりでは？

103万円

H21.3.31現在の
住民基本台帳の
人口で除して算
出






具体的な使い道は？



※1 特別な市債：国が交付すべきお金を地方が借入金でまかなうこととされたもの。返済した金額は交付税に算入されます。

H20年度に一般会計で発行された市債の使い道は？

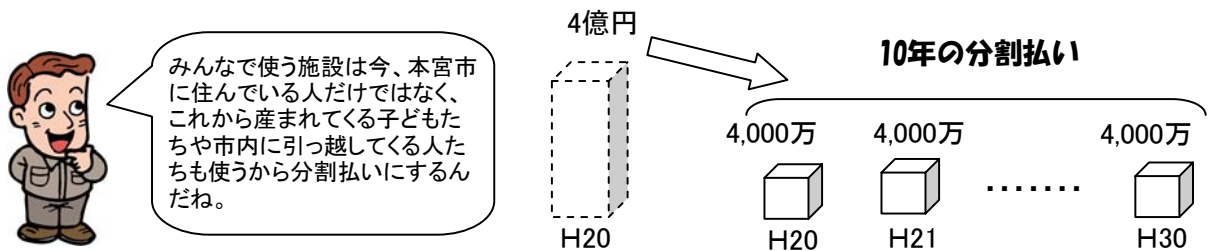
学校建設  2億8,070万円 本宮小学校の耐震補強や校舎の改築、岩根小学校の増築などに使いました。	道路工事  1億1,990万円 堀切・赤坂線、除石・江口線、大山・松沢線の道路改良に使いました。	消防車購入  1,500万円 20年間使用してきた消防ポンプ車を更新するために使いました。
--	--	---

どうして市債を発行するの？



市債とは、道路や橋、学校など長い年月使用する施設を建設する場合に発行するものです。このような施設を建設する費用は、建設したときの市民だけがすべてを負担するのではなく分割払いにすることで、将来、市民となられる方々にも公平に負担していただきます。

例えば、4億円で体育館を造った場合



H20年度に4億円を一括払いをせずに、10年の分割払いにすると毎年4,000万円の支払いとなります。

もし、市債を発行せずに体育館を造った場合...

健康診断や医療費助成

学校生活や設備の充実

必要なサービス

道路の維持補修

介護支援や医療費の助成

サービスに影響が...

左のように、必要なサービスを維持するためには、体育館建設などの大規模事業は市債を活用して、毎年の支払いを少なくすることも必要です。



本宮市の貯金はどのくらいあるの？

基金名	H20末残高
財政調整基金	12億2,348万円
緑化基金	8,102万円
地域福祉基金	4億1,057万円
本宮小学校整備基金	1億2,179万円
白沢総合支所庁舎建設基金	1億8,377万円
その他	4億2,860万円
合計	24億4,923万円

基金残高は24億4,923万円

財政調整基金は災害が発生したり、経済の急激な変化で税収が減ったりなどといった不測の事態に備えて積み立てている貯金です。また、小学校の建設など大規模事業等、特定の目的のために積み立てられている基金もあります。

H20年度は財政調整基金(普通貯金)に6,615万円を積み立てました。



本宮市の財政は健全なの？

単年度の収支状況だけでは、財政がどのような状態にあるかわかりません。そこで、市の財政運営に関わるすべての要因を含めて判断するために次の4つの指標を算出します。



実質赤字比率 該当なし **イエローカード** 13.8%

一般会計に赤字額がどれくらいあるかを表します。

連結実質赤字比率 該当なし **イエローカード** 18.8%

一般会計と特別会計・公営企業会計のすべての会計の赤字額がどれくらいあるかを表します。

本宮市自主的財政健全化計画では22.0%で、計画よりも0.3ポイント下回りました。

昨年度は240.0%でしたので、14.9ポイント下がりました。

実質公債費比率 21.7% **イエローカード** 25%

市の財政運営に影響するすべての会計の借入金の返済に充てた経費がどれくらいあるかを表します。

将来負担比率 225.1% **イエローカード** 350%

市の財政運営に影響するすべての会計の借入金の返済、退職手当などの将来に負担が見込まれる経費がどれくらいあるかを表します。

上記の4つの指標が基準値を上回る場合は、早期健全化団体(イエローカード)、財政再生団体(レッドカード)となります。早期健全化団体になると財政健全化計画を策定し、計画に基づいて健全化を図ることになります。また、財政再生団体になると、再生計画の策定や市債などに対して国の管理下におかれるため、自主的な財政運営ができなくなります。

本宮市では、H20年度決算では4つの指標とも基準を下回りました。しかし、実質公債費比率や将来負担比率については高い数値がでていますので、今後も事業の効率化を図り、できる限り節約して健全な財政運営をします。



現在高めの数値がでている実質公債費比率と将来負担比率については、今後減少していくので心配ありません！

今後のために今することは？

本宮市では、厳しい財政状況の中、市民の皆様に必要なサービスを提供するために、H19年度に「本宮市自主的財政健全化計画」を策定しました。以下の点に重点をおいて財政運営していきます。

<歳入>

- 1. 税収の確保**
収納体制の強化を図ります。
- 2. 遊休財産の売却**
将来利用計画がないものについて適正に売却します。

<歳出>

- 1. 人件費の抑制**
特別職給料、議員報酬、管理職給料及び手当の減額をH20~22年度に実施する。
- 2. 経費の節約**
施設の維持管理の経費や消耗品、物品の購入などの経費を節約します。



市は将来を見据えてしっかりと財政運営をしていきます。市民の皆様も財政事情をご理解いただき、市政の在り方について一緒に考えていきましょう。

このページに関するお問い合わせは財政課財政係(内線232)へ
詳細はホームページでも公表しています。

<http://www.citv.motomiva.lg.jp/>